



証券コード：1376 / 東証スタンダード

カネコ種苗株式会社

個人投資家向け会社説明会

2026年 7月 17日

1. 会社概要

Company Profile

カネコ種苗は、明治28年創業の農業関連企業です。

「タネ」を起点に、農業の現場に寄り添いながら、種苗・資材・栽培提案まで幅広く価値を提供しております。

創業：

1895年
(明治28年)



証券コード：

1376



上場市場：

東証
スタンダード



資本金：

14億9,126万円



本社：

群馬県前橋市



社員数：

677名（連結）
(2026年5月末時点)



事業：種苗事業
花き事業
農材事業
施設材事業



営業拠点：

全国15支店・3営業所
研究所・農場 国内3カ所
海外子会社 2社




カネコ種苗株式会社

私たちは生産者の皆さまをあらゆる面からサポートする農業関連の総合企業です

2. 種苗業界とは

Plant Breeding Industry

野菜や花、飼料作物などの品種開発を行い、

「タネ」や「苗」を生産・供給する業界です。

生産者の皆さまが作物を育てるためには、

高品質のタネや苗が必要です。

病気に強い品種や暑さに強い品種、おいしい品種、

より多く収穫できる品種などを開発し、

農業の基盤を支えています。

品種開発と農業・社会とのつながり



農業の出発点である「タネ」と「品種開発」を通して、
食と農業の基盤を支える業界です

3. 事業ポートフォリオ

Business Portfolio



種苗事業

- ✓ 野菜・飼料作物・サツマイモの品種開発
- ✓ タネ・苗の生産、販売



花き事業

- ✓ 花の品種開発
- ✓ 花のタネ・苗の生産、販売
- ✓ 家庭用園芸資材の販売



農材事業

- ✓ 農薬・被覆肥料・バイオスティミュラント資材の販売



施設材事業

- ✓ 農業資材の販売
- ✓ 養液栽培プラントの開発・設計・施工
- ✓ 温室の設計・施工



野菜、花、飼料作物の品種開発を原点として、農業に新たな価値を創造します

4. 種苗事業の役割と成長性

Seed and Plant Breeding



1. 地域に合った品種開発

温暖 or 冷涼な気候、
大規模栽培、都市近郊栽培、
季節性、土壌の違い、
高温耐性、高冷地栽培、
病害抵抗性、貯蔵性、食味、多収性...



各地域のニーズに合わせて最適な品種を開発し、
安定生産に貢献します

2. 海外需要への対応

世界のニーズに応える品種・ソリューションを
グローバルに展開

グローバルな市場ニーズの把握

各国の気候・栽培環境・食文化を調査し、
ニーズに合った品種を選定・開発



地域農業の発展

新たな収益を創出し、
地域農業の発展を支える



安定供給とサプライチェーンの構築

高品質なタネの安定供給体制を整備し、
持続的に成長する海外市場を開拓



地域に適応した
品種開発

+



安定生産と
生産者の収益向上

=



「食」と「農業」を
支える基幹事業

5. 花き事業の役割と成長性

Flower

1. 花き事業の役割

花は飾る・贈る・育てるを通じて、
日々の暮らしや空間に彩りと潤いをもたらします

家庭・暮らし



日常のインテリア・
ホームユース需要

ギフト・イベント



記念日・式典・
季節需要を支える

園芸・趣味



育てる楽しさ
心の豊かさを育む

花は生活を彩り心を豊かにする、暮らしに身近な事業です



生活を彩り
豊かな心を育む



拡大する海外市場
への対応

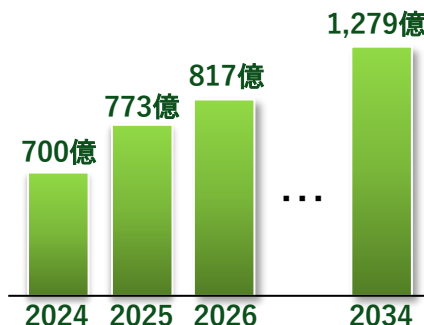


オリジナル品種開発

2. 市場環境と品種開発

世界の花き市場

(単位:ドル)



世界の花き市場は
拡大傾向にある

(国際園芸協会資料より当社が独自に作成)

当社のオリジナル品種開発

✓カーネーション ✓ユーストマ



✓デルフィニウム ✓スターチス・
シヌアータ



6. 農材・施設材事業の役割と成長性

Crop Protection Products and Agriculture Inputs



1. 農材・施設材事業の役割



「品種の力」 + 「農材・施設材による
安定した栽培環境の提供」
= 『野菜の安定供給』

農材

病害虫対策を通して
収量と品質の
安定化に貢献

施設材

環境制御により
安定した
生育環境を実現

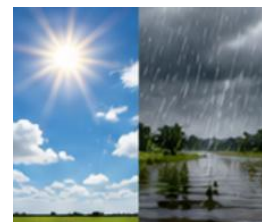
流通・供給基盤

全国に拠点を持ち、
商品の安定供給に
より現場を支える

農材・施設材事業は”作る”を支え、”届ける”を支えます

2. 栽培環境の変化とソリューション

環境変化



温暖化・異常気象
↓
病害虫リスクの
増加

必要な対策



新たな防除体系
環境の安定化
↓
環境制御

安定供給



安定した品質・
収量で、
食卓を支える

変化への対応、課題解決が事業の使命です



安定栽培を支える



施設園芸を支える



食の安定供給に貢献

7. カネコ種苗の競争優位性

Competitive Advantage



競争優位の源泉



高い品種開発力



- ・エダマメ・タマネギ・サツマイモなど
- ・独自性の高い品種で高い市場シェアを確立



グローバル育種体制



- ・フィリピン・タイの海外子会社との連携による多様な品種開発
- ・世界のニーズに応える品種を供給



競争優位を支える基盤



専門人材



- ・研究・現場のプロフェッショナル人材
- ・人材育成と技術継承で競争力強化

販売網



- ・全国・海外の販売ネットワーク
- ・インフラ的役割、安定供給

現場力



- ・現場起点の課題解決
- ・現場の声を開発・サービスに反映

8. 農業の課題と成長機会

Growth Opportunities and Challenges



課題と成長機会のつながり

- ✓ 事業を通して農業の課題を解決することが、当社の持続的な成長につながります

当社は農業に貢献する会社、農業を通して社会に貢献する会社です

9. 2026年5月期 業績について

Financial Results 2026

A. 業績ハイライト

連結売上高

677億3,300万円

前年比+5.0%

親会社株主に帰属する
当期純利益

13億2,500万円

前年比+10.4%

PBR

0.57倍

前年比-0.5pt

連結営業利益

17億4,900万円

前年比+15.7%

自己資本比率

49.4%

前年比-1.3pt

1株当たりの純利益

120.07円

前年比+13.06円

連結経常利益

18億4,600万円

前年比+10.8%

ROE

5.1%

前年比+0.2pt

PER

11.62倍

前年比-1.32pt

27年5月期 業績予想

売上高

700億円

営業利益

20億円

経常利益

21億円

当期純利益

16.5億円

B. セグメント別業績

■ 種苗事業

売上高：95億7,300万円

営業利益：5億3,000万円

■ 花き事業

売上高：83億4,500万円

営業利益：6,800万円

■ 農材事業

売上高：345億5,000万円

営業利益：16億3,200万円

■ 施設材事業

売上高：152億6,400万円

営業利益：4億8,800万円



10. 自社開発品種紹介

Edamame



湯あがり娘 エダマメ



主な特徴



- 茶豆風味の食味の良さ
- 3粒さやが多く収穫量が多い
- 鮮やかな緑色

評価



- 家庭用・業務用の両面で提案可能
- ショ糖含有量が多く食味に優れ、嗜好品であるエダマメとして最適

市場性



- 湯あがり娘をはじめとした当社のエダマメ品種は全国約30%のシェア[※]確固たるブランドを確立

※当社推定

11. 自社開発品種紹介

Cherry Tomato



イエローミミ

トマト



主な特徴



- フルーツ感覚の甘さ
- 鮮やかなレモンイエロー
- 安定した収穫性

評価



- 黄色いミニトマトの定番品種
- 売り場で目立ち差別化しやすい

市場性



- 新たに耐病性を獲得したイエローミミも開発し、競争が激しいトマト市場でブランドを確立

12. 自社開発品種紹介

Sweet Potato



シルクスイート®

サツマイモ



主な特徴



- 上品な甘さ
- きぬのような滑らかな舌ざわり
- 鮮やかな黄色み

評価



- 焼き芋・加工・青果用途に対応可能
- 売り場で差別化しやすい

市場性



- 青果用で全国第2位の作付け面積
- スイーツ系としてのブランドを確立

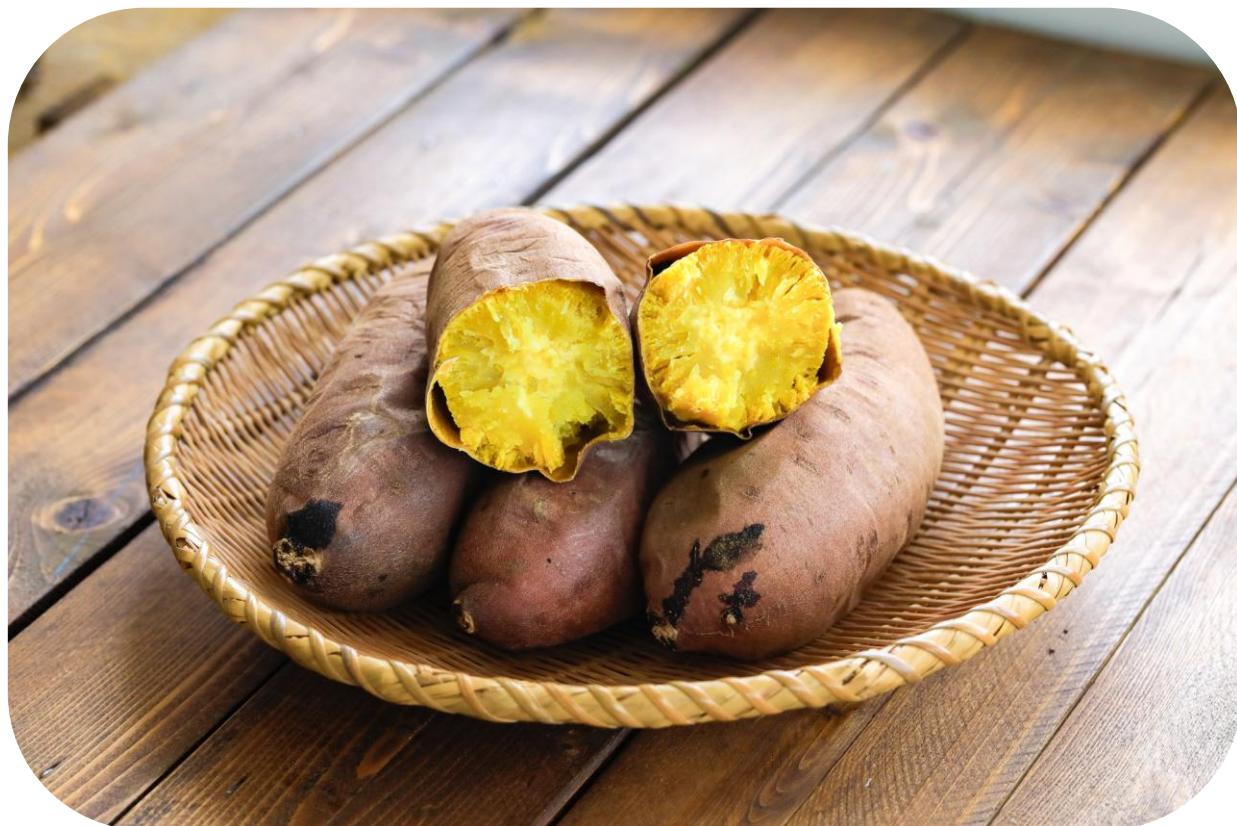
13. 自社開発品種紹介

Sweet Potato



栗かぐや®

サツマイモ



主な特徴



- ホクホクした甘み
- 満月のような黄金色
- 優れた貯蔵性

評価



- 天ぷらや大学芋等の惣菜加工に対応
- 昔ながらのホクホク感が好感

市場性



- 上市2年目で茨城の主力産地に導入、シェアを拡大
- ホクホク系市場の再定義を狙う

14. 自社開発品種紹介

Forage Crops

飼料作物

飼料用トウモロコシ

牧草

当社では、主に牛などの家畜が食べる作物の品種開発に取り組んでおります



飼料用トウモロコシ



牧草



サイレージ

主な特徴



- 高い収量性
- 地域環境に合わせた生育特性
- 高い嗜好性（消化性、糖分含有量）

評価



- 国内で飼料作物の品種開発に取り組む企業は少なく、現場のニーズに合わせた品種開発ができている

市場性



- 高騰する輸入飼料への対策
- 食料自給率向上への対応

15. 自社開発品種紹介

Lisianthus

エグゼアンティークピンク ユーストマ



主な特徴



- おしゃれなアンティークピンク
- 花が大きくフリンジ咲[※]で豪華

※花びらの縁に細かい切れ込みが入った咲き方

評価



- 2023年 切り花部門（国内）
フラワー・オブ・ザ・イヤー
（最優秀賞）受賞

市場性



- ブライダル用に人気
- 茎も硬めで生産性が高い
- 希少なカラーで差別化できている

16. 自社開発品種紹介

Delphinium

セリーネラベンダー デルフィニウム



主な特徴



- 透明感のあるライトラベンダー色
- 大輪できれいな花形

和名：大飛燕草（オオヒエンソウ）

評価



- 2025年プロフローラ（コロンビア）
ラインフラワー部門
最優秀賞受賞

市場性



- 海外で高評価
- 早生で開花が早く生産性が高い
- 花の詰まりがよくアレンジしやすい

17. 自社開発品種紹介

Carnation

テルミ

カーネーション



主な特徴



- 薄いクリーム地にライラック色
- 丸い花弁のふんわりとした雰囲気

評価



- 2024年 切り花部門（国内）
フラワー・オブ・ザ・イヤー
（最優秀賞）受賞

市場性



- 花持ちが良く特徴のある花色が評価
- 茎が硬くつくりやすい品種
- 特徴のある花色でアレンジに最適

18. 自社開発品種紹介

Carnation

ウィーン

カーネーション



主な特徴



- 白地にチェリーピンクのバイカラー
- 花が大きく整っている

芸術の都ウィーンを連想して命名

評価



- 2023年プロフローラ（コロンビア）
スプレーカーネーション部門
最優秀賞受賞

市場性



- 花持ちが良く特徴のある花色が評価
- 茎が硬く秀品率が高い
- 形が整っておりアレンジに良い

19. 業績推移と今期業績予想

Financial Forecast

連結売上高(百万円)

72,000

70,000

68,000

66,000

64,000

62,000

60,000

58,000

56,000

24/5

25/5

26/5

27/5 予想

■ 連結売上高 — 連結経常利益高

連結経常利益(百万円)

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

連結売上高



24年5月期→26年5月期

615億円 → 677億円

+62億円

連結経常利益



24年5月期→26年5月期

15億円 → 18億円

+3億円

着実に成長を続けており、27年5月期も増収増益予想となっております

20. 農業の季節性について

Seasonality



年間繁忙度のイメージ



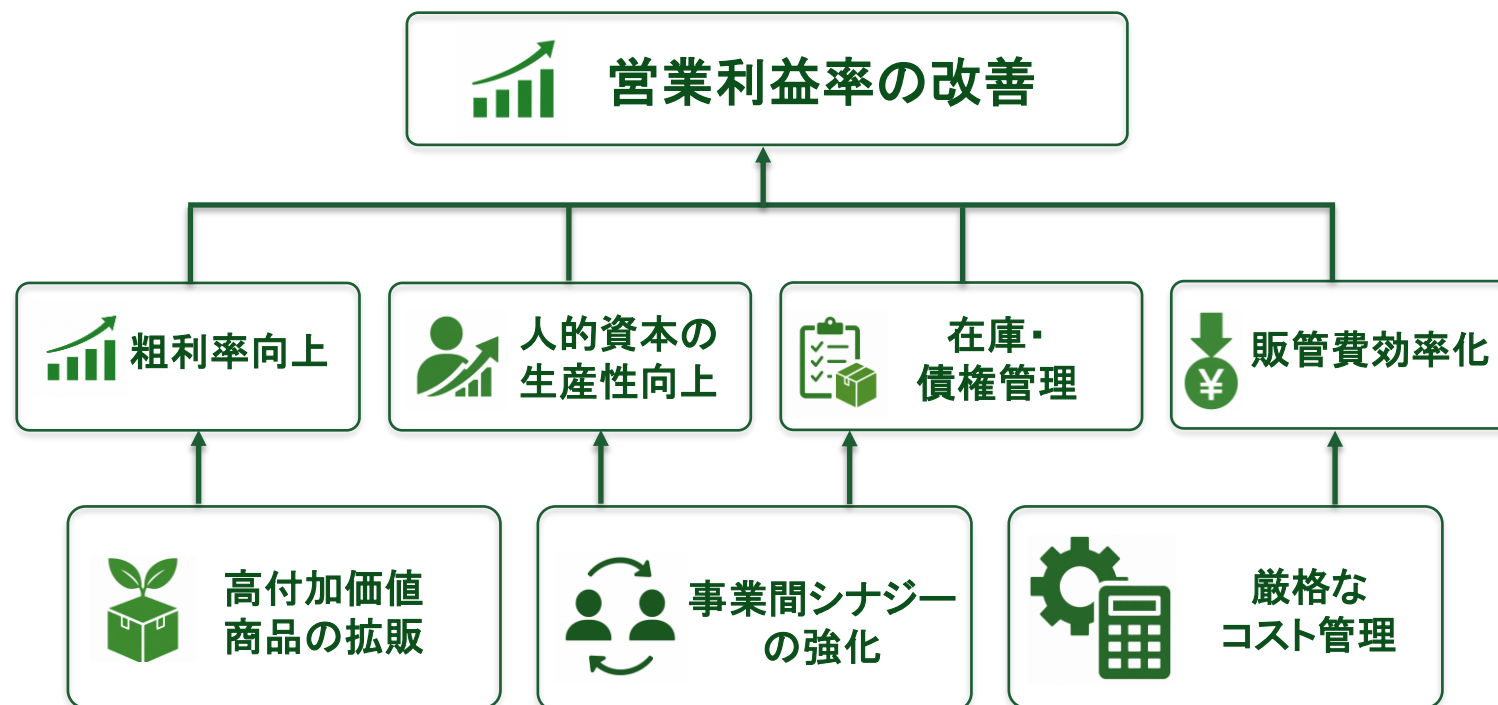
当社も春(4Q)に売上・利益が大きく計上され、3Qまでの進捗だけでは年間業績を評価しにくい事業特性があります

21. 中期経営計画・収益性改善

Medium-Term Management Plan

中長期的に売上拡大だけではなく収益性改善も重視します

中期経営計画における数値目標



成長投資と収益性改善を両立し、企業価値の向上を目指します

22. 人的資本の考え方と主な投資

Human Capital Management



当社が考える必要人財



研究人財

品種開発を担い
現場で求められる
最高の品種を生み出す



課題解決人財

現場起点の発想で
課題解決に
つながる提案を行う



当社が進める主な人的資本投資



A) 育成・研修



B) 専門性の高度化



C) ノウハウ継承



D) 働きやすい環境整備



人的資本への
投資



専門性・
提案力の向上



顧客価値の
向上



継続取引・
競争力強化



中長期的な
企業価値向上

当社は人財を「将来の競争力を生む投資先」と捉え、専門性・継承・現場力の強化を進めております

23. 財務・資本政策と株主還元

Capital Allocation



財務・資本政策



資本コストや株価を
意識した経営



成長投資と
財務健全性の両立



資産効率の改善

成長投資



株主還元



株主還元の考え方



安定的・継続的な
還元を重視



成長投資とのバランス

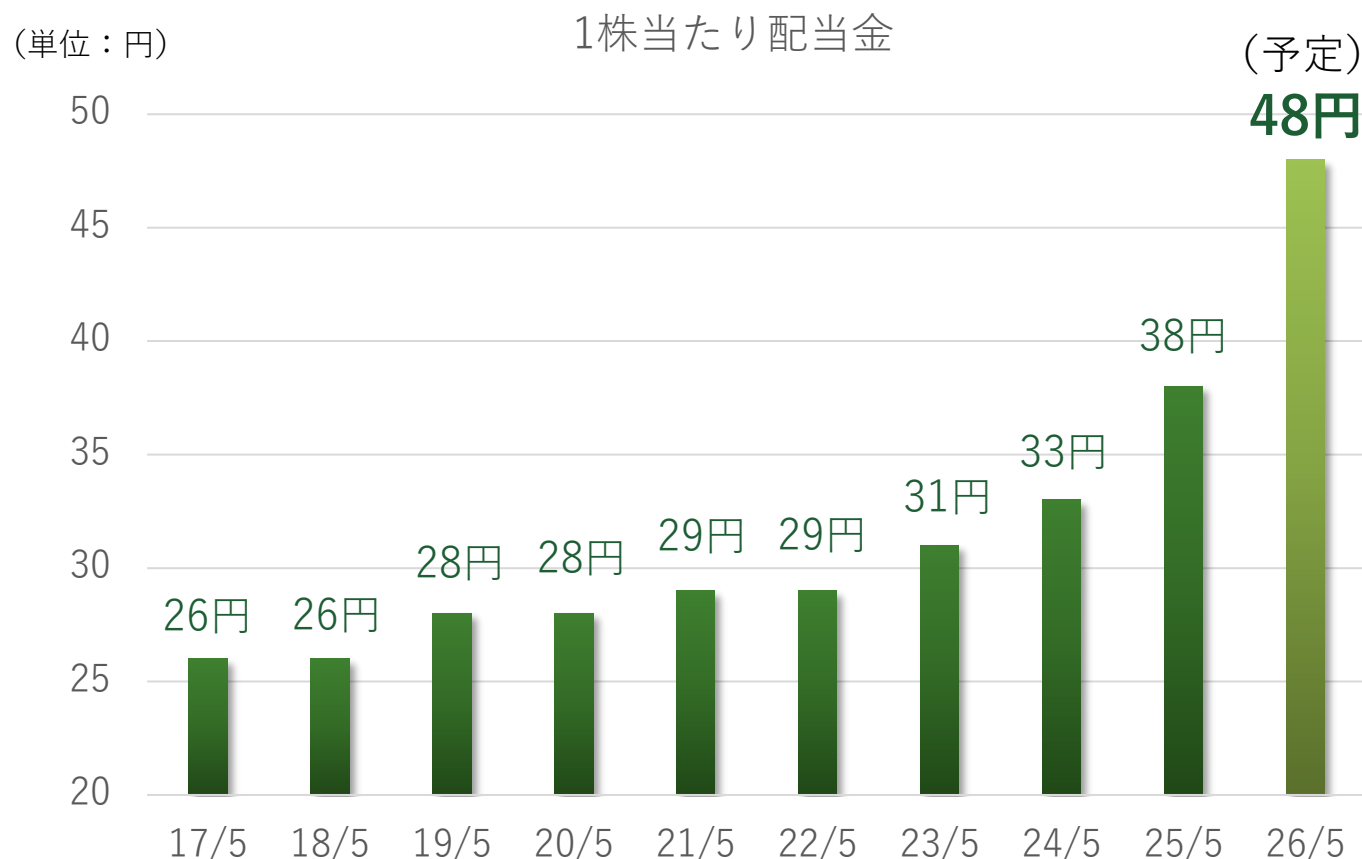


企業価値向上を通じた
長期還元

健全な財務基盤に支えられた長期的な成長を目指します

24. 株主還元 1株当たり配当金の推移

Annual Dividend



過去10年における配当の推移

26円 → 48円



配当利回り(2026年5月末時点)

3.4%



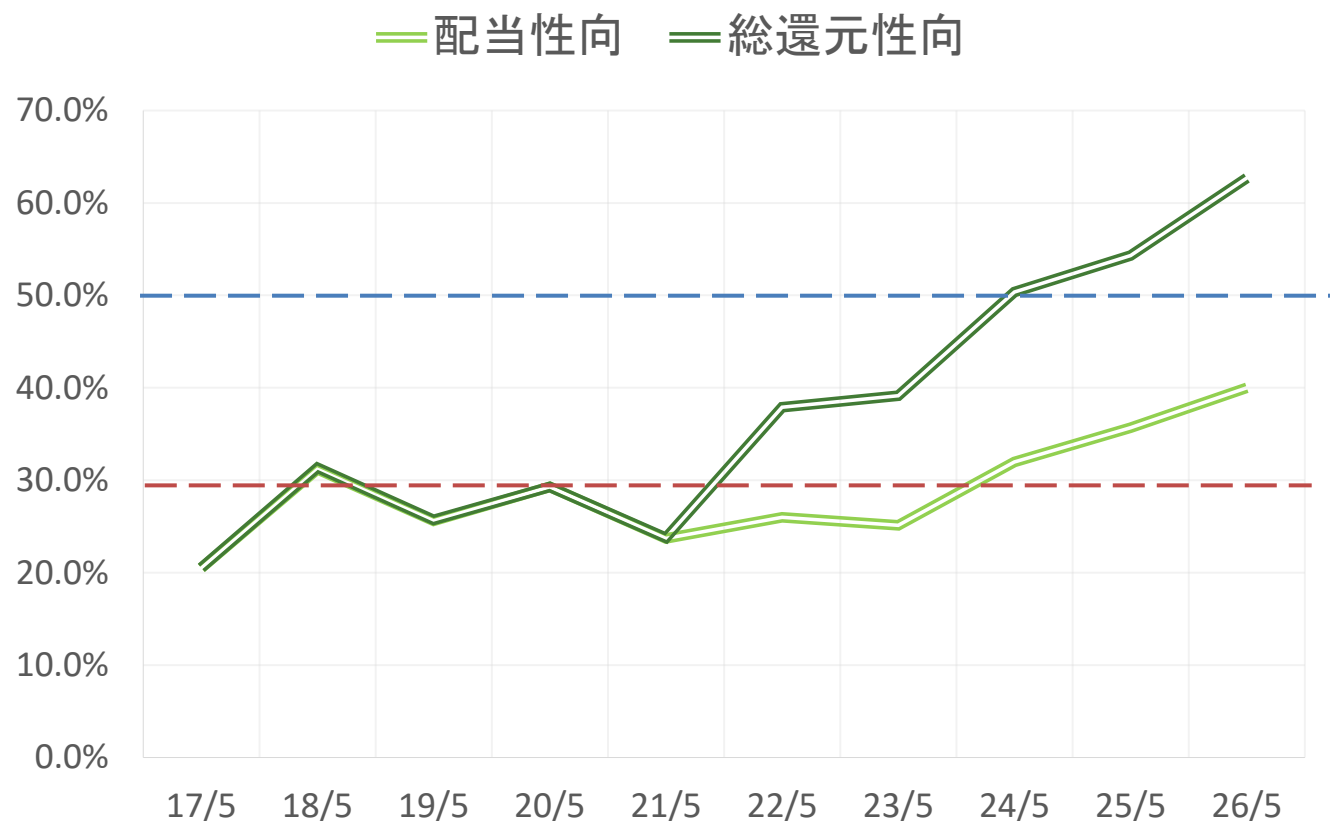
基本方針

- 配当性向30%以上を維持
- 安定した配当を継続
- 経営体質強化のための必要な内部留保を確保

成長投資と株主還元を両立しながら、安定配当を継続していきます

25. 株主還元 総還元性向の推移

Shareholder Returns



総還元性向

62.7%

26年5月期



配当性向

40.0%

26年5月期



基本方針

- 市場動向を踏まえ機動的に自己株式取得を実施
- 自己資本比率を一定水準維持し、継続性を持って株主還元を強化

安定配当を軸に、総還元性向の向上を通じて株主還元を強化してまいります

26. 株価と出来高について

2023年6月-2026年5月

Share Price



株価の推移

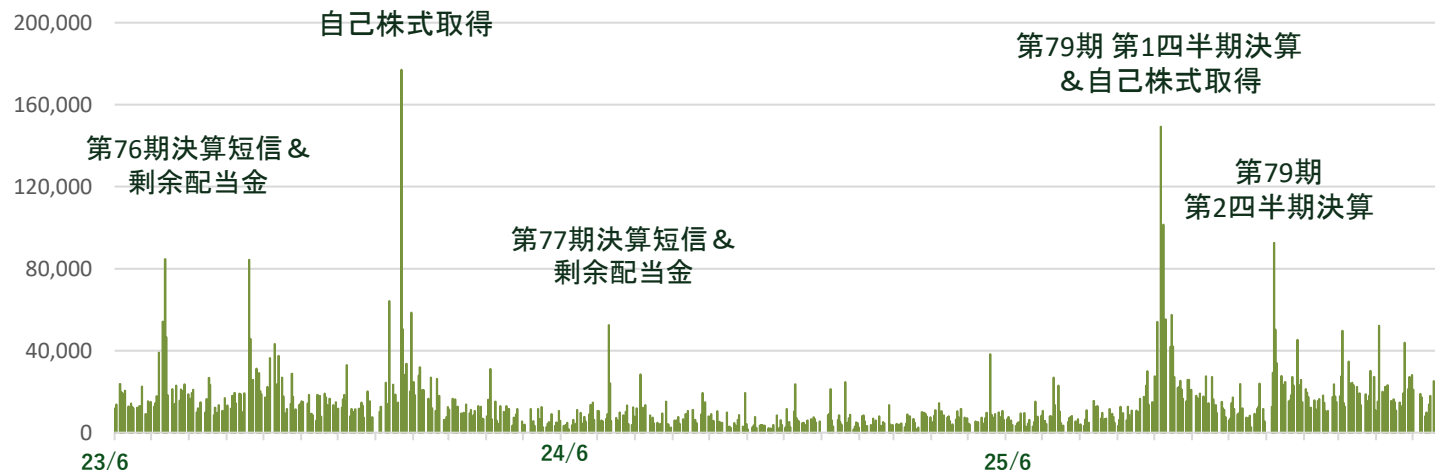


株価について

- ✓ 概ね1,400円前後で推移
- ✓ 2025年10月に高値1,859円
- ✓ 一時的な株価上昇場面があったものの、その後は以前の水準に戻る



出来高の推移



出来高について

- ✓ 直近1年の平均出来高は約20,000株/1日
- ✓ 決算や自己株買いのタイミングで取引が増加
- ✓ 流動性に波がある



27. 課題と今後について

Share Price



課題

- ✓ 中長期的な成長性や事業内容が、市場評価に十分につながっていない
- ✓ 投資家層への認知拡大が途上であり、流動性に向上の余地がある
- ✓ 当社の事業構造や競争優位性について、投資家層の理解をさらに深める必要がある



事業の拡大



利益成長
株主還元
継続的対話



市場での評価



株価・出来高
に反映

長期的視野での業績拡大と対話の継続が中長期の企業価値向上につながると考えております

28. グローバル展開について

Global Strategy

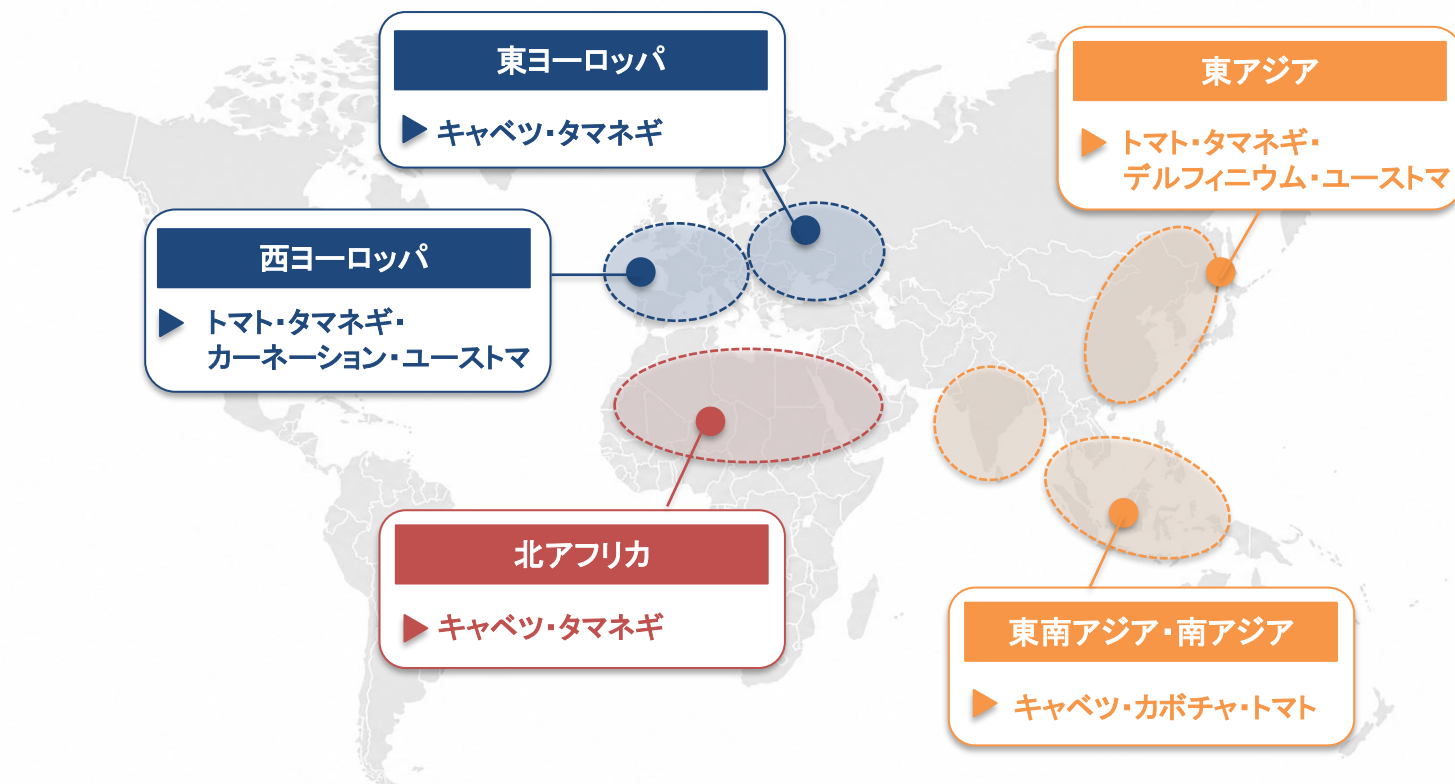
方針



フィリピン・タイの子会社と連携し、
主にアフリカを含めたトロピカル
地帯向けの品種開発を推進



南アジアや東ヨーロッパにおける
顧客基盤の強化と市場開拓を推進



地域ごとの需要に応じた品種開発と市場開拓で、海外成長を取り込む

29. まとめ

Summary

1

農業総合企業：
タネから資材まで一体提案



タネ・品種開発・資材・栽培支援
までを一体で提供する
農業総合企業として生産者の
課題解決に貢献します。

2

中期成長シナリオ：
売上・利益の着実な拡大



重点分野への投資と販売基盤の
強化により、売上・利益の着実な
拡大と企業価値の向上を
目指します。

3

社会課題との接点：
食料安全保障・気候変動・
持続可能性



食料安全保障の確保、気候変動
への対応、持続可能な農業の実現
に向けて、社会課題の解決に
貢献します。

4

長期視点の価値創造：
研究開発と現場提案力



品種開発・研究への継続投資と、
現場に寄り添う提案力、
グローバル展開を通じて、
長期的な競争優位と価値創造を
実現します。

カネコ種苗は**品種開発力**と**現場力**を強みに、持続可能な農業と
豊かな暮らしを支え、**企業価値向上**を通じて投資家の皆さまの期待に応えてまいります